



会長：西村 正司
 前会長：田中 誠
 会長代行：宮嶋 秀一
 副会長：片岡 秀
 幹事：森野 隆
 幹事：伊勢 雅人
 SAA：伊橋 川高
 クラブ員：安田 治
 公共イメージ：樋口 勉
 グレグ管理運営：山脇 英彰
 奉仕プロジェクト：山脇 英彰
 財団・奨学金：大塚 泰史

「ロータリーは機会の扉を開く」

RI会長

「ロータリーの原点に戻る」

RI2650地区ガバナー

「次なるステージに向け改革を」

彦根南ロータリークラブ会長

NO.10 2020年10月27日 (TUE) 第1987回 例会 Vol.44

本日のプログラム 「新入会員スピーチ」：毛利 聖紀 君 プログラム委員会担当

プログラム

- 開会点鐘
- ロータリーソング
- 「それでこそ
ロータリー」
- ゲスト紹介
- 会長の時間
- 幹事報告
- 委員会報告
- SAAの時間
- ニコニコBOX
- 出席報告
- 例会タイム
- 閉会点鐘
- 本日のお弁当
- 竹平楼さん

米山月間・蔡佳蓉奨学生東近江RC卓話に同行して

米山カウンセラー 橋川 高治
 2020～21米山月間行事として、東近江RC例会に招かれ地区米山奨学委員会正村滋賀地区委員と共に10月23日(金)蔡奨学生の卓話を拝聴致しました。中村東近江RC会長(招福楼社長)の丁寧なご紹介のあと、蔡奨学生の卓話は台湾の地理から入り日本人を尊敬する台湾の方々的心情、出身の台南の観光名所の紹介、日本と台湾の食事(特に餃子等)の違いを分かりやすく解説されました。

又、現在在学中の滋賀大学で学んでいる経済学部ファイナンス学科の勉学内容と今後日本での就職活動を好きなサービス業を主体的に考えてホテル、航空業界を目指すことを目標にしていること、RC奨学金制度に感謝している事を約25分間わたる卓話でした。まだ当クラブより早い時期でしたが、予定した内容より短めの要請があり当人は不十分の結果であるように推察しました。

奨学生とRCとの関わり合いの場を広げるには地区委員の正村様もお話になってみえましたが、今年度の世界大会が台湾で来年6月に行われることになっており、東近江RCの方々との例会前から終了後までの交流が本来の米山奨学委員会が目指す将来の日本との懸け橋の役割を担ったのではないかとおもいます。



八日市ロイヤルホテルへ

インターアクトクラブ活動報告

会報雑誌委員長 青山 悟士
 新型コロナの影響で、インターアクトの活動が制限される中、10月23日(金)午後4時から5時にかけて、彦根総合高校生徒会有志とインターアクトメンバーの総勢11名の皆さんにより、JR彦根駅西口にて(社)彦根社会福祉協議会の協力のもと、赤い羽根共同募金の街頭募金活動が実施されました。

マスクと手袋をつけ、大声を出さない等の対策を取りながら、道行く人に募金への協力を呼びかけ、多くの市民の皆様から大切な募金をお預かりすることが出来ました。参加した生徒の皆さんも、最初は不安そうな顔でしたが、最後には達成感に満ちた笑顔で終わることが出来ました。木枯らしの吹く寒い中ご苦労様でした。(あと、藤本副委員長も…)



11月 3日 プログラム

休会 (祝日)

11月 10日 プログラム

新入会員スピーチ：山元 広志 君

プログラム委員会担当

前回例会報告



第1986回例会は、多賀町中央公民館にて開催されました。西村会長の点鐘の後、ソングリーダー尾崎君のもと、「四つのテスト」と「我らの生業」を斉唱しました。



会長の時間では、先日のうまいもん会で故藤居さんを偲ぶ会が行われ、思いを受け継いでいきたいと語られました。また地区の委員会では全てZoom会議で行っていることや、本日から滋賀県でGo To Eatが始まったので、飲食店を助ける意味などで是非とも利用していただきたいなどの話がありました。



その後、各種お祝いと幹事報告があり、SAAの時間では橋川君が、10月は旧暦では神無月で神々が出雲大社で会議を行い、又、Octoberの意味の由来などや、相田みつをの「うばい合えばたらぬ わけ合えばあまる」正しくロータリーの事だなどと話され、ニコニコBOXの紹介がありました。



例会タイムに先立ち、財団・米山奨学委員会担当理事の北川(泰)君から就任の挨拶がありました。



つづいて、プログラム委員会の田川委員長からZoomについて、使い方など解りやすく説明がありました。最後に、西村会長の点鐘で閉会になりました。

ニコニコBOX 計 46,000円 総計755,000円

- ◇ガバナーの公式訪問も無事終わり移動例会も今月はあと一回となりました。親睦委員会本当にご苦労様です。本日、田川君お願いします…西村君
- ◇移動例会お世話になります…北川(泰)君・一圓君・木村君・梅田君・法村君・川地君・諸川君・泉君・西澤(清)君・杉本君・西本君・北川(嘉)君
- ◇本日「Zoomについて」宜敷お願いします…田川君
- ◇みなさん多賀結の森へようこそ！…宮嶋君
- ◇すばらしい会場をありがとうございます…橋川君
- ◇☆素晴らしい会場を利用させて頂きありがとうございます。☆妻の誕生日自祝…大塚君
- ◇ささゆりホール様お世話になります…杉原君
- ◇妻の誕生日を祝って頂き有難うございます…伊勢田君
- ◇結婚記念、創立記念日を祝って頂いて…松宮君
- ◇他の用務と重なりSAAのお許しをいただきお先に失礼致します…片岡君

我が社の仕事



有限会社 近江電機自動車整備工場
代表取締役 西澤 稔
〒529-1315 愛知郡愛荘町杵掛313-1
TEL0749-42-2488 FAX0749-42-4196

はじめまして、愛荘町の中山道沿いに店を構えている(有)近江電機自動車整備工場と申します。どうぞよろしくお願い致します。

弊社は終戦間もない頃、電気器具や電柱の変圧器の修理業として先々代が兄弟で起業したそうです。

当時は中山道をはじめ道路という道路は舗装などされておらず、自動車という乗り物は警察や消防などの官庁くらいしか保有していない中、戦時中に軍隊で機械の整備をしていた経験を活かしパトカーや消防車の修理もしていたそうです。その後、経済復興と自動車の普及に伴い自動車整備・販売を本業とし現在軽自動車から大型自動車など幅広く手掛けさせて頂いております。

こんな私がロータリーに入会させていただけたのも、終戦後まさにゼロからスタートした先々代と先代の地道な努力と苦労や、支えていただいている従業員とお客様のおかげだと周りに感謝しています。

今や人の移動や物流の手段としての地位を確立した自動車ですが、その技術は日々めまぐるしく進化をしており、完全自動運転や空を飛ぶ車まで近い未来には実現しそうです。我々自動車整備業界もその進化した技術に対応しようと努力しておりますが、正直ついていくのがやっとなのが現状です。ひと昔前までは自動車の修理は豊かな整備経験が「もの」をいう「カン(勘)コンピューター」で勝負できましたが、昨今は専用のコンピューターを自動車に接続しないと判断がつかない修理の方が多くなってきました。今後はAIロボットが現れ、我々の仕事を奪われる日も近いかも知れません。それでも先代たちが築いてきた昔ながらの人間対人間の温かみのある仕事を私は大切にしていきたいと考えています。

この会のメンバーの方々は大先輩ばかりで、ただただ恐縮するばかりですが少しでもお互いの心が近づけるよう、また皆様の事業の成長に役立てる活動に参加するべく頑張ってまいります。

恥ずかしながらどうしようもない若輩ものです。ご迷惑をおかけいたしますが、どうかご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



例会出席報告

	会員数	当日出席	Make-Up	出席率
10月20日	60(4)	35(2)	20	94.82%
10月 6日	59(4)	45(3)	10	94.82%

【ソングリーダー】 ◎中川寛之 ○北川嘉志 (随時ご指名させて頂きます)

【会報雑誌委員会】 委員長：青山悟士 山元広志 木村泰造 西澤清正 西本智彦 尾崎雄 林信弘 藤本昌樹